

研究・調査報告書

| | |
|--|---------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 599 | 独立行政法人酒類総合研究所 |
| 題名 (原題/訳) | |
| Wine Tastes and Drinking Styles among Young Consumers in Japan 日本における若年消費者のワインの味および飲酒スタイル | |
| 執筆者 | |
| KANAUCHI-KAMIYA Hiroko, KANAUCHI Makoto, MORITA Akira, KANO Haruka, MURAKAMI Tomomi, MIYAZAWA Chie, YOSHIZAWA Ibuki, MIYASATO Katsuyo, KIYONO Seiki | |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日) | |
| 果汁協会報 Page.1-13 (2011) | |
| キーワード | |
| 飲酒、ワイン、日本、若年消費者 | |
| 要 旨 | |
| <p>20～30代パネリスト66名について、4～5名ずつのグループで約70分のインタビューを行い、ワインの飲酒スタイルの調査を行った。夕食時、自宅や外食時に友達や家族とスナックや洋食とともにワインを飲むことがわかった。ワイン購入時、もっとも重要なのは「価格」であった。インタビューにおいてキーワードとして「甘い」が頻出し、「なめらかさ」も求められていた。パネリストには赤ワインよりも白ワインが飲まれており、苦味や渋味は好まれなかった。また小瓶であることや、ボトルデザインも気にかけていた。官能評価を行ったところ、甘味はワインの味でもっとも重要な要素で調和と総合評価に寄与していた。酸味、渋味、苦味は甘味によって軽減され、糖と酸の添加が香味を調和させた。</p> | |